

結ひの古典

もくじ

はじめに

第一章

ことばのあゆみ

日本語の文字

漢字の起源——六書

漢字の伝来

日本語を漢字で表現する

——万葉仮名・平仮名・片仮名

いろは歌と五十音図

くずし字

明治以降の国語施策

本の形態と日本語

2

2

4

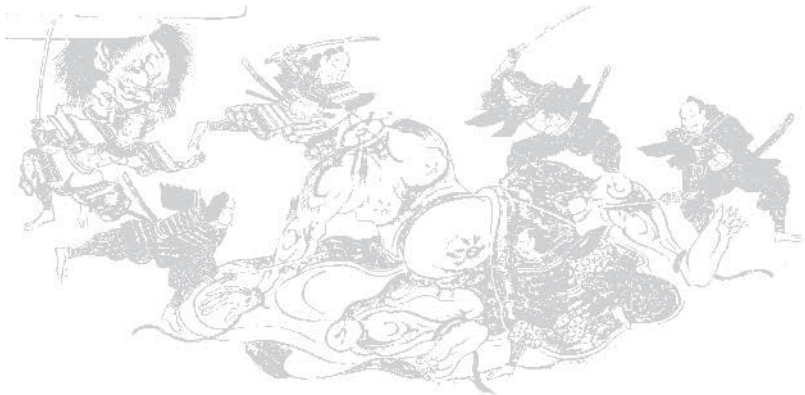
5

7

9

9

12



第三章
歌から生まれる
物語

伊勢物語	56
初冠(初段)	56
西の対(第四段)	58
芥河(第六段)	58
東下り(第九段)	60
筒井筒(第二三段)	62
狩の使(第六九段)	64



第四章
物語の深化

源氏物語(桐壺卷)	70
光源氏の誕生	70
「長恨歌」楊貴妃との対比	72
長恨歌(「白氏文集」卷一二)	74
源氏物語(葵卷)	76
車争ひ	76
葵上(謡曲) 怨霊の登場	79



源氏物語(若菜上卷)	82
女三の宮の降嫁	82
唐猫の綱	84
枕草子 上に候ふ御猫は(第七段)	87
源氏物語(浮舟卷)	89
右近の話・東国の悲劇	89
大和物語 生田川(第一四七段)	92
源氏物語(手習卷)	95
手習ひをのみ	95
徒然草 つれづれなるままに(序段)	97



史記

四面楚歌 (項羽本紀)

項王自刎 (項羽本紀)

古事記

神々の婚姻と国生み (上巻)

大鏡

雲林院の菩提講 (序)

南院の競射 (太政大臣道長)

徒然草 或人、弓射る事を習ふに (第九二段)

方丈記

ゆく河の流れ

酒呑童子 (渋川版)

平家物語

祇園精舎 (巻第二)

知章最期 (巻第九)

先帝身投 (巻第一一)

能登殿最期 (巻第一一)

笈の小文 須磨・明石の旅 (上巻)

134 130 127 124 123 123 117 115 115 114 112 109 109 106 106 104 102 102

コラム

和歌と歌人のカードゲーム化「百人一首」 53

桜さく日本、桜ちる日本 54

恋のきっかけ? 自然保護? —— 鷹狩の横顔 66

最古の物語? 『竹取物語』 67

文豪も愛した古典文学 68

五感で楽しむ物語 98

古典作品からの再創造 99

前近代の推しグッズ!? 古典の意匠 100

揺れ続ける日本 137

史実、物語、そして二次創作へ 138

腹下しにアカエイ —— 日本と東洋医学 174

古典籍×デジタル技術で拓かれる可能性 175



第六章 遊びと創造

雨月物語

浅茅が宿（巻之二）

仁勢物語

第一段

第九段

第二三段

化物大江山

傾城水滸伝

立木の局、誤りて妖魔を逃がす（初編第二）

衣手、戸隠山の鬼女を許す（初編第三）

猿蟹遠昔噺

浦島太郎（渋川版）

140	140	145	146	148	150
154	154	159	162	173	

作品解説 176

文献調査の方法

資料提示の方法

くずし字一覧表

184 188 190

図版出典

192

本文底本

193

参考・引用文献

193

参考サイト

194



凡例

- 一、本文 本文は、巻末に示した底本に基づき作成したが、学習の便宜を考慮し一部改めた。
- 一、脚注 本文の各ページ下段には、読解の助けとなる語句の解説を付した。また、脚注の末尾には、関連する「作品解説」への参照ページを示した。
- 一、コラム 各章の末尾には、本文の内容から発展させた、より深い学びのためのコラムを設けた。
- 一、巻末資料 巻末には、以下の資料を掲載した。
 - ・ 作品解説 本書に掲載した作品について、ジャンル、作者、成立、概要をまとめた。
 - ・ 文献調査の方法 古典文学をさらに探究するための調査方法を解説した。
 - ・ 資料提示の方法 探究したことを適切に伝えるための資料の提示方法を解説した。
 - ・ くずし字一覧表 同志社大学古典教材開発研究センター他 編『未来を切り拓く古典教材』より転載。

・ 図版出典／本文底本／参考・引用文献／参考サイト 本書の作成にあたり使用した底本、および主要な参考文献、参考サイトの一覧。